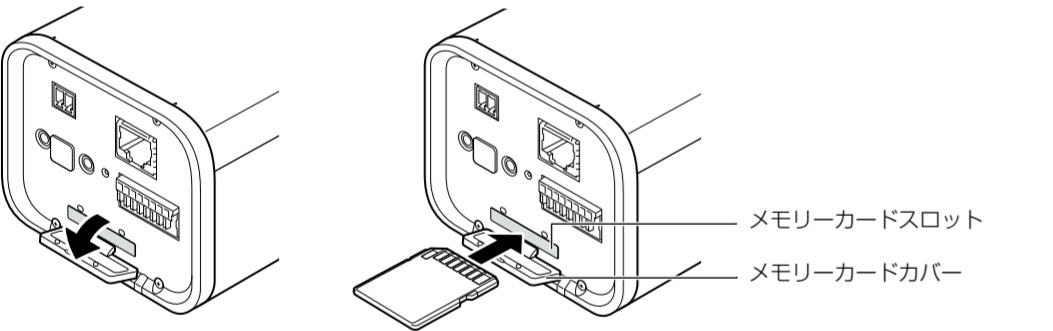


## メモリーカードで利用の場合

図のようにメモリーカードカバーを開いて、メモリーカードを出し入れしてください。出し入れ後は、メモリーカードカバーをしっかりと閉じてください。



## 入れ方

メモリーカードをメモリーカードスロットの奥に突き当たるまで押し込んでください。

## 取り出し方

メモリーカードを奥まで押すと、カードが少し飛び出しますので、指でつまんで引き出してください。

### 重要

- メモリーカードはカメラを設置する前に入れてください。
- メモリーカードが、書き込み禁止状態でないことを確認してください。
- カメラで初めて使用するメモリーカードは、カメラに入れた後、最初にフォーマットすることを推奨します（『操作ガイド』「設定ページ」の「メモリーカード」参照）。

## カメラを設置する

カメラを設置する前に、セットアップ CD-ROM の「カメラマネジメントツール」を使って、カメラに IP アドレスなどのネットワーク情報を設定してください。「カメラマネジメントツール」の詳しい操作方法については、『カメラマネジメントツール使用説明書』を参照してください。

### 1 カメラを取付金具に取り付ける

カメラの取り付け用ネジ穴を使用して、カメラを取付金具にしっかり固定します。

### 重要

- 取付金具はお客様で用意していただくか、販売店にご相談ください。
- 取り付け用ネジ穴には、三脚用取り付けネジ（1/4-20 UNC）が適合します。
- 取付金具は、取り付けネジの長さが 5.5 mm 未満のものをご使用ください。 5.5 mm 以上のものを使用すると、カメラが破損することがあります。

### 2 カメラにケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続します。AC アダプター（オプション）や外部電源をご使用の場合は、電源用コネクタとカメラを接続します。必要に応じて、外部デバイス入出力端子や音声入出力端子にケーブル類を接続します。

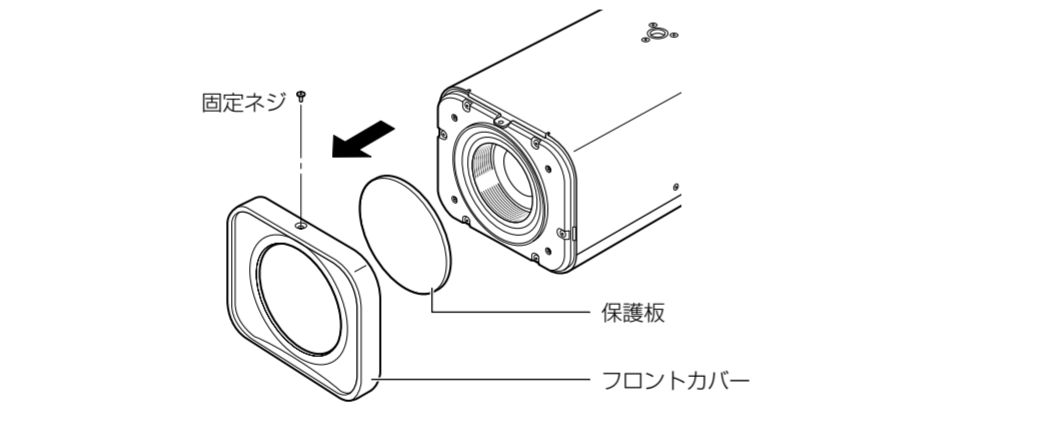
### 3 カメラアングルを調整する

設置が完了したら、セットアップ CD-ROM に収録されているカメラアングル設定ツールを利用して、PC からカメラの映像を確認し、手動でカメラアングルを調整してください。ズームとフォーカスは、カメラアングル設定ツールで調整できます（『操作ガイド』の「カメラアングル設定ツール」参照）。

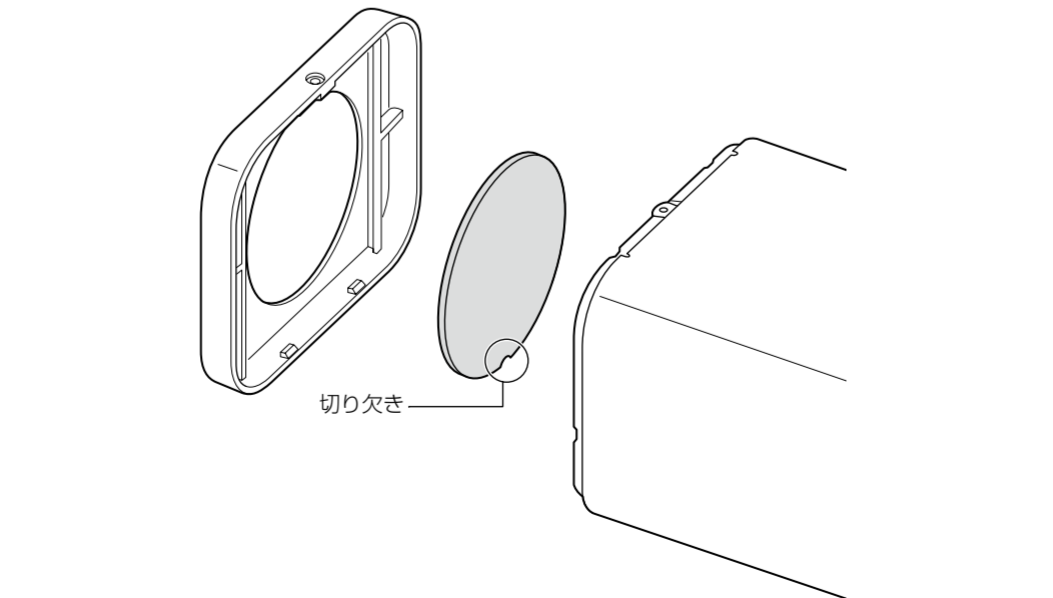
### カメラハウジングをご利用の場合

カメラを市販のカメラハウジング内に取り付けて使用する場合は、ハウジング内での余分な反射の影響を避けるために、カメラの保護板を取り外してください。

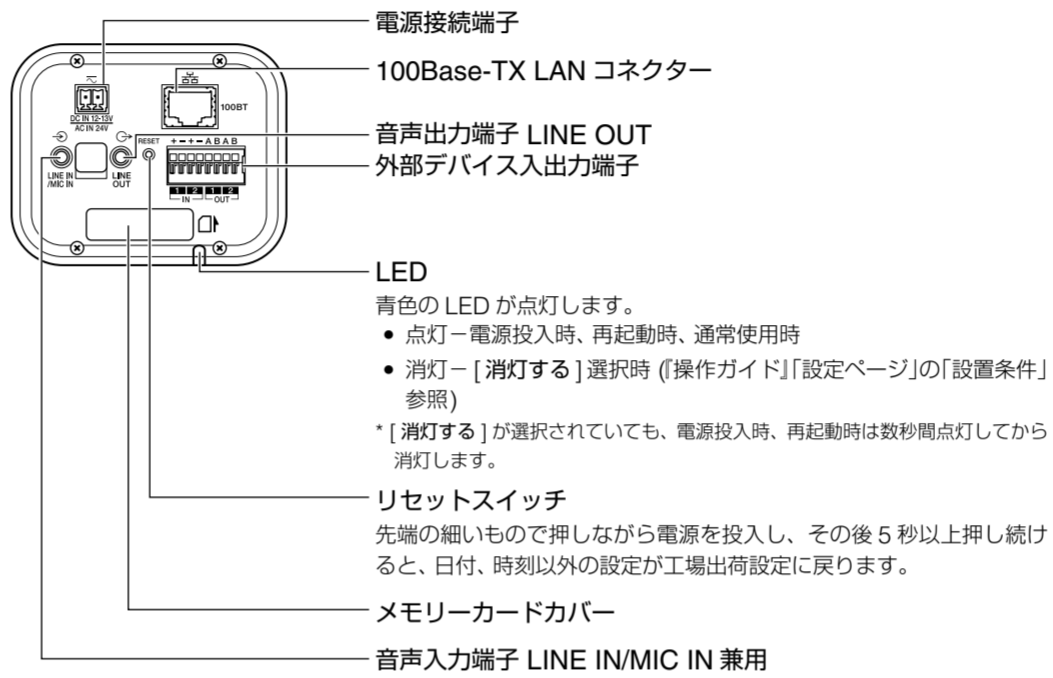
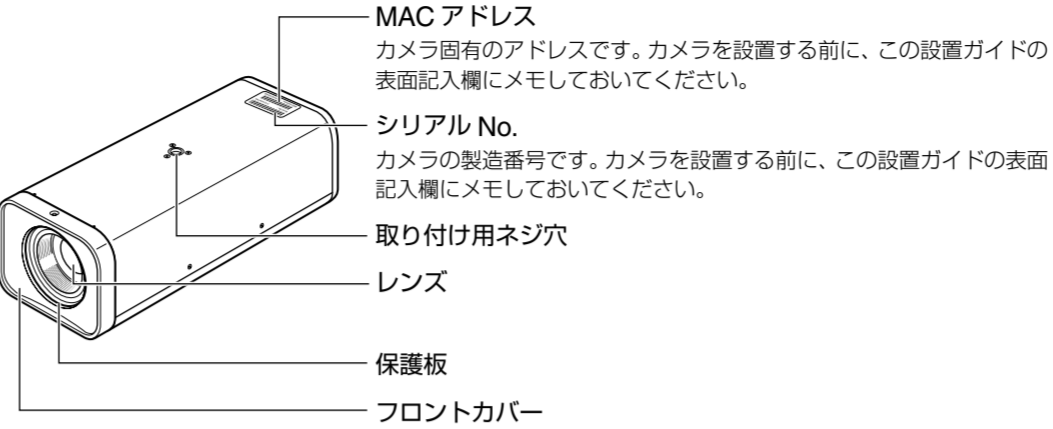
- フロントカバーの固定ネジを取り外してフロントカバーと保護板を取り外し、フロントカバーだけを元通りに固定ネジで取り付けてください。



- 取り外した保護板を取り付けるときは、切り欠きがある面をレンズ面に向けて取り付けてください。



## 各部の名称



## カメラを接続する

### 電源の接続

カメラは、次の 3 通りの方法で電源を供給できます。各電源装置に付属する使用説明書を必ず読んでからご使用ください。

### メモ

- カメラには電源スイッチがありません。LAN ケーブル（PoE 給電）、AC アダプターや外部電源の電源プラグを抜き差しすることで、電源の入/切をします。
- カメラを再起動する必要があるときは、カメラの設定ページから再起動の操作を行ってください（『操作ガイド』「設定ページ」の「メンテナンス」参照）。

### ■PoE（Power over Ethernet）

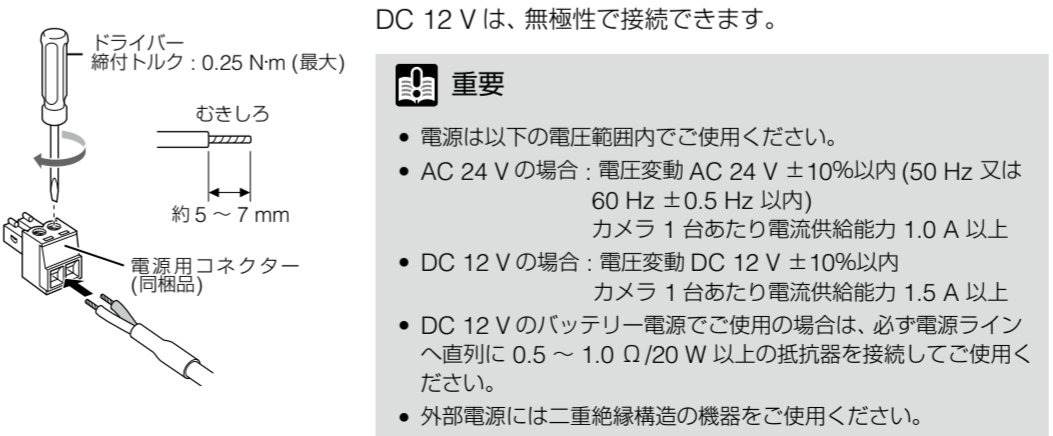
PoE 機能を搭載しています。IEEE 802.3af に準拠した PoE 対応 HUB から、LAN ケーブルを通じて電源をカメラに供給できます。

### 重要

- PoE 対応 HUB や Midspan については、販売店へご確認をお願いします。Midspan（LAN ケーブル給電装置）は、PoE 対応 HUB と同様に LAN ケーブルを通じてカメラに電力を供給する機器です。
- PoE 対応 HUB によっては、ポートごとに使用電力を制限できるものがありますが、制限をかけると正しく動作しないことがあります。この場合は、制限をかけないでご使用ください。
- PoE 対応 HUB によっては、各ポートの合計消費電力の制限がある場合があり、複数のポートを使用する場合に正しく動作しないことがあります。ご使用の PoE 対応 HUB の使用説明書をご確認ください。
- PoE 対応 HUB からの給電状態で、カメラに AC アダプター（オプション）を接続することもできます。この場合、PoE 給電の状態では PoE 給電が優先され、AC アダプター（オプション）からの給電は使用しません。PoE 給電が切断されると、自動的に AC アダプター（オプション）から給電されます。

### ■外部電源

DC 12 V 入力・AC 24 V 入力が可能です。同梱の電源用コネクタを、次の図のように接続してください。



### 重要

- 電源は以下の電圧範囲内でご使用ください。

- AC 24 V の場合：電圧変動 AC 24 V ±10%以内（50 Hz 又は 60 Hz ±0.5 Hz 以内）カメラ 1 台あたり電流供給能力 1.0 A 以上

- DC 12 V の場合：電圧変動 DC 12 V ±10%以内 カメラ 1 台あたり電流供給能力 1.5 A 以上

- DC 12 V のバッテリー電源でご使用の場合は、必ず電源ラインへ直列に 0.5 ～ 1.0 Ω/20 W 以上の抵抗器を接続してご使用ください。

- 外部電源には二重絶縁構造の機器をご使用ください。

ケーブル (AWG)	24	22	20	18	16
DC 12 V 最大ケーブル長 (m)	5	9	14	23	32
AC 24 V 最大ケーブル長 (m)	11	18	29	46	64

DC 12 V または AC 24 V の配線には UL ケーブル（UL-1015 相当品）をご使用ください。

### ■AC アダプター

カメラの専用 AC アダプター（オプション）を利用してください。

### 外部デバイス入出力端子

外部デバイス入出力端子には、入力および出力がそれぞれ 2 系統あり、ビューワーで外部デバイス入力の状態確認と外部デバイス出力の操作ができます（『操作ガイド』の「外部デバイス出力の操作」 「イベントの状態を表示する」参照）。

### ■外部デバイス入力端子（IN1、IN2）

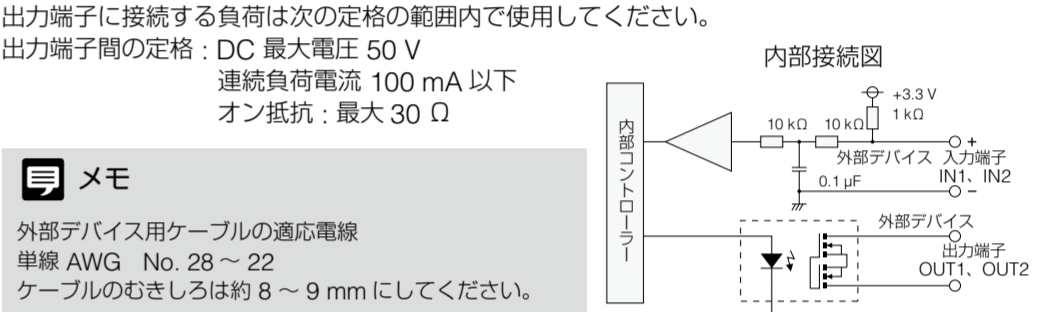
外部デバイス入力端子は 2 端子の組 2 つ（IN1、IN2）で構成され、一端子は本体内部の GND に接続されています。+端子と−端子に 2 線のケーブルを接続し、両端子間を電氣的に導通状態または絶縁状態にすることで、ビューワーに通知します。

### 重要

- 接続するセンサーやスイッチは、それぞれの電源や GND と電氣的に分離された端子を接続するようにしてください。
- 外部デバイス入出力端子のボタンを押し込み過ぎないでください。ボタンが戻らなくなる場合があります。

### ■外部デバイス出力端子（OUT1、OUT2）

外部デバイス出力端子は 2 端子の組 2 つ（OUT1、OUT2）で構成されています。それぞれの組に極性はありません。ビューワーからの制御により、2 端子間を導通状態と絶縁状態に切り換えることができます。出力端子は光結合素子を用い、本体の内部回路とは分離されています。



### メモ

外部デバイス用ケーブルの適応電線単線 AWG No.28～22 ケーブルのむきしろは約 8～9 mm にしてください。

### 音声入出力端子

音声入出力端子には、入力および出力がそれぞれ 1 系統あります。カメラにマイクやアンプ付きスピーカーなどの音声入出力機器を接続すると、ビューワーを通じて、音声の送受信ができます。

### ■音声入力 LINE IN/MIC IN 兼用（モノラル入力）

カメラの音声入力は 1 系統ですが、ライン・インとマイク・インの 2 種類のマイクをサポートしています。設定ページから [音声入力モード] を切り換えてご使用ください（『操作ガイド』の「音声入力モード」参照）。工場出荷設定は、ライン・インに設定されています。入力端子：φ3.5 mmミニジャック（モノラル）

- ダイナミックマイク・イン設定時
  - 入力インピーダンス：1.5kΩ ±5%
  - \* 対応マイク 出力インピーダンス：400Ω ～ 600Ω
- コンデンサーマイク・イン設定時
  - 入力インピーダンス（マイクバイアス抵抗）：2.2 kΩ ±5%
  - マイク電源：プラグインパワー（電圧：2.3 V）方式
  - \* 対応マイク プラグインパワー方式対応コンデンサーマイク
- ライン・イン設定時
  - 入力レベル：最大 1 Vp-p
  - \* アンプ付きマイクをご使用ください。

### ■音声出力端子 LINE OUT（モノラル出力）

カメラとアンプ付きスピーカーを接続します。ビューワーから音声をスピーカーへ送信できます。出力端子：φ3.5 mmミニジャック（モノラル）

出力レベル：最大 1 Vp-p

\* アンプ付きスピーカーをご使用ください。

### 重要

- [音声入力モード] の設定を間違えて使用した場合、カメラやマイクの故障の原因になりますので、正しく設定してください。
- ご使用のマイクの特徴で、音量・音質などが変化する場合があります。
- 映像と音声は、同期しないことがあります。
- ご使用の PC の性能やネットワーク環境によっては、音声が届切れることがあります。
- 最大 30 クライアントに対して、映像と音声を配信できます。ただし、配信するクライアントが多い場合や SSL 接続時には、音声が届切れることがあります。
- ウイルス対策ソフトウェアをご使用の場合、音声が届切れることがあります。
- LAN ケーブルの抜き差しを行うなどで、通信が一時的に途切れると音声が届切られるので、ビューワーから再接続してください。